２０２６年１１月２４日

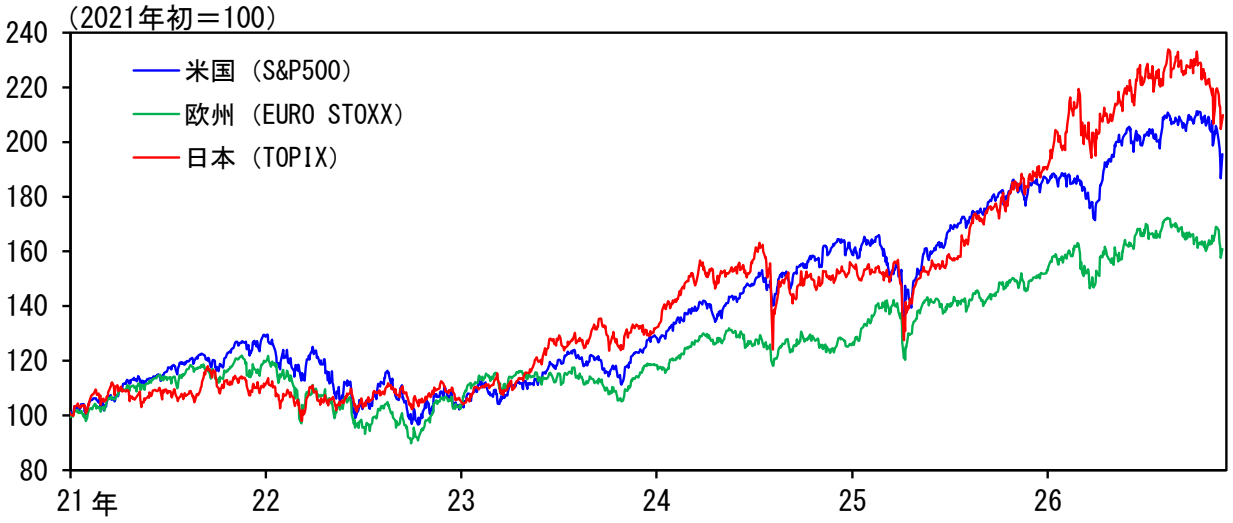
日　　本　　銀　　行

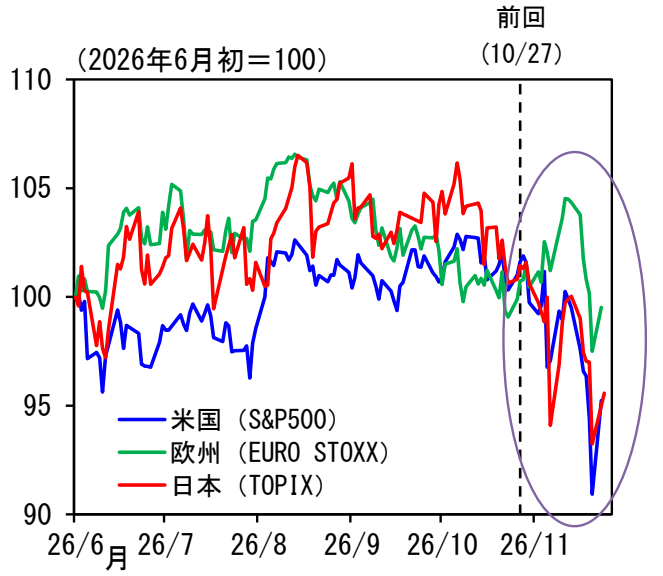
月例経済報告等に関する
関係閣僚会議・資料

―― 最近の金融市場の動き ――

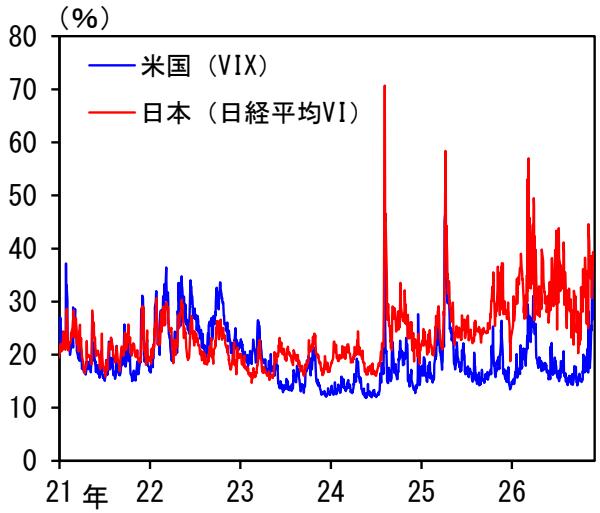
１．株価

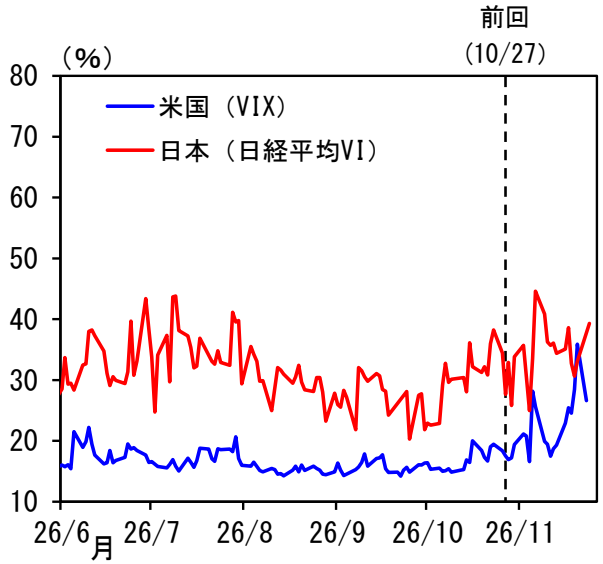
（１）日米欧の株価





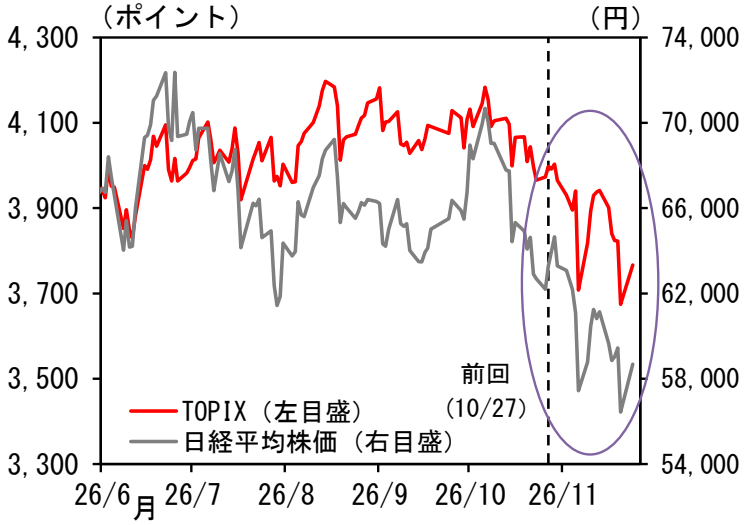
（２）日米株価のボラティリティ





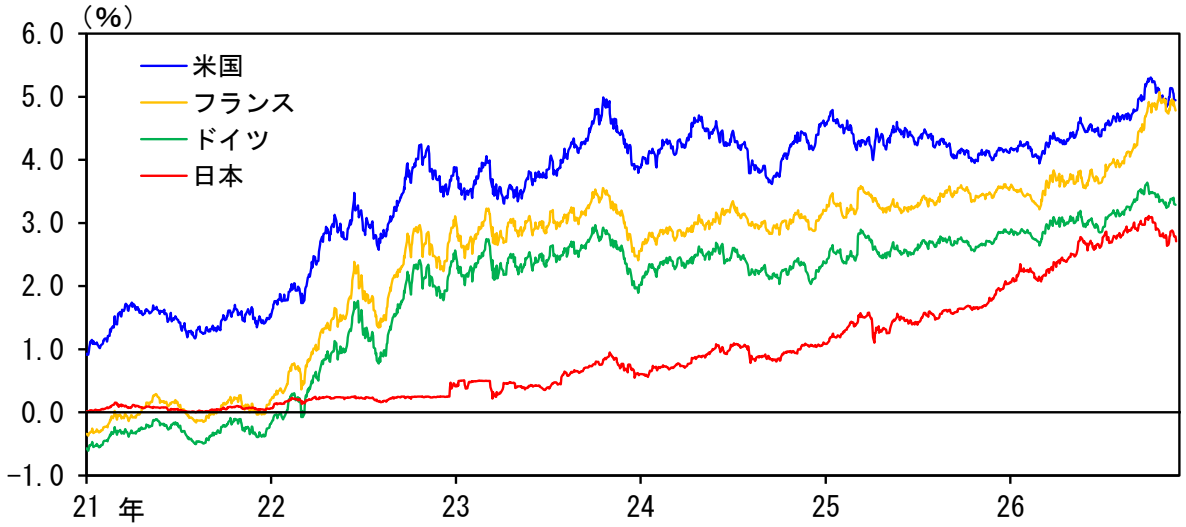
（注）日本は、11月24日午前11時30分時点の値。
（出所）Bloomberg

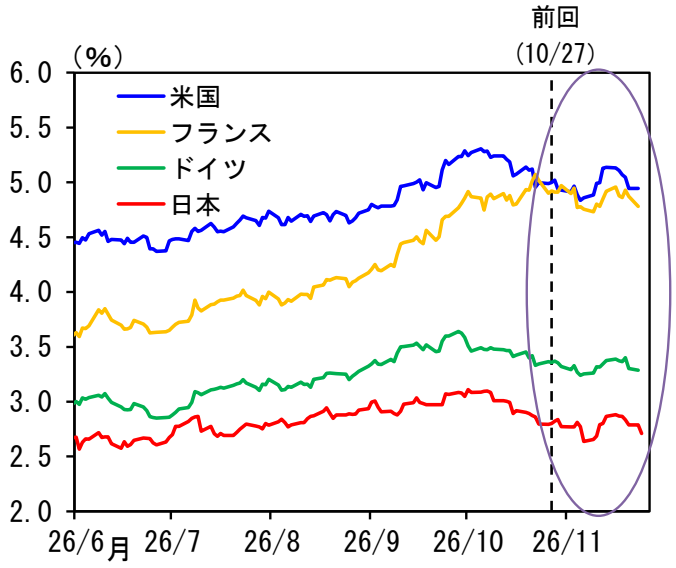
（３）日経平均株価とＴＯＰＩＸ



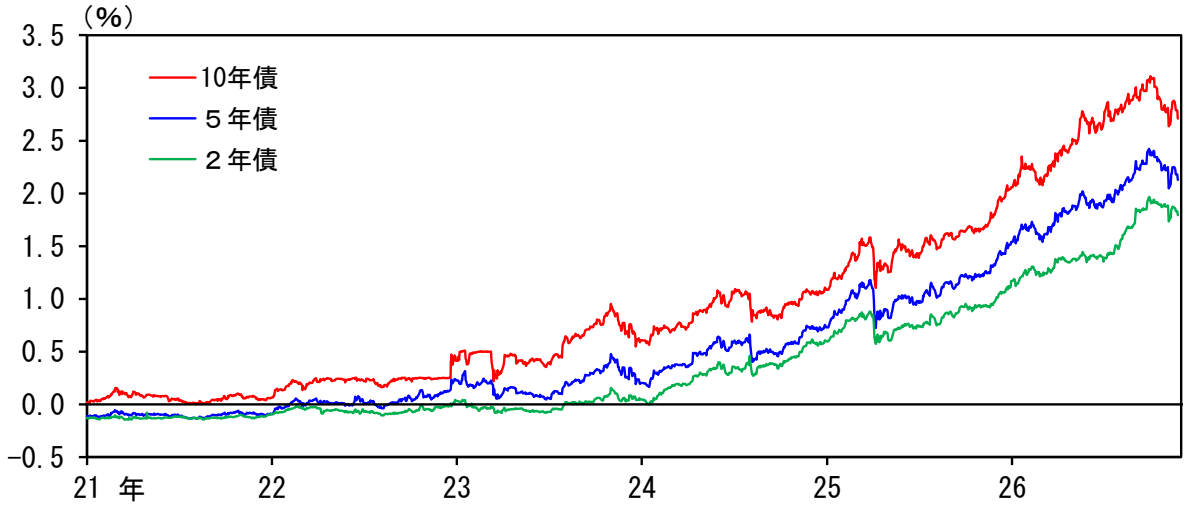
２．債券市場

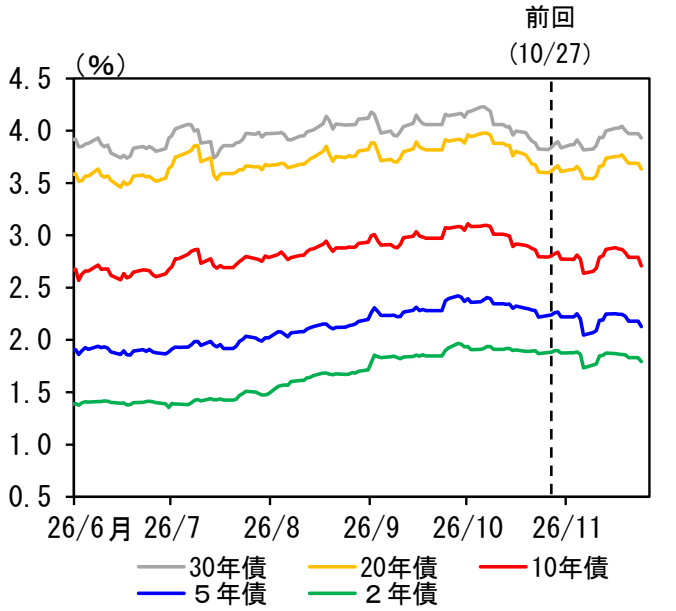
（１）主要国の長期金利





（２）日本国債利回り（年限別）

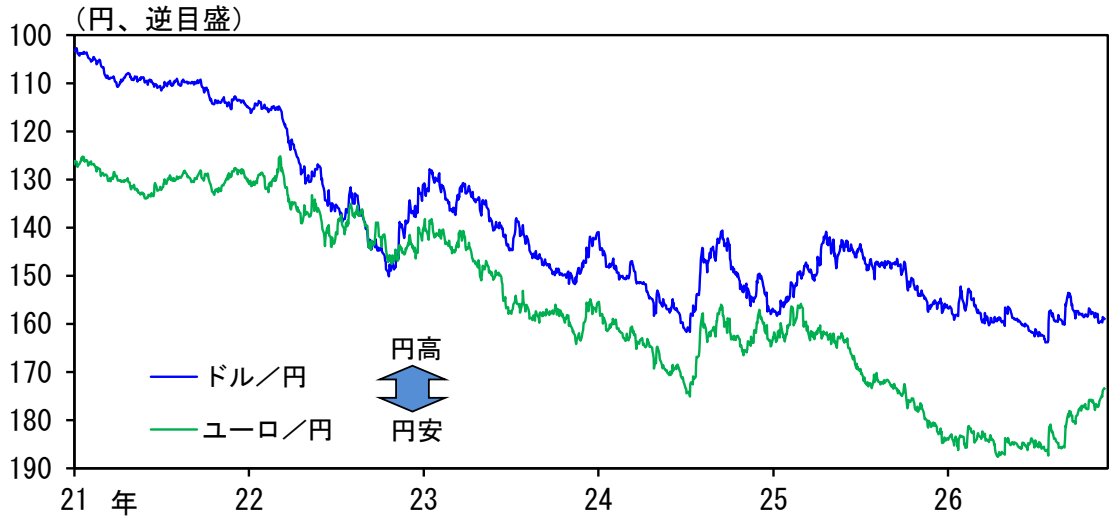


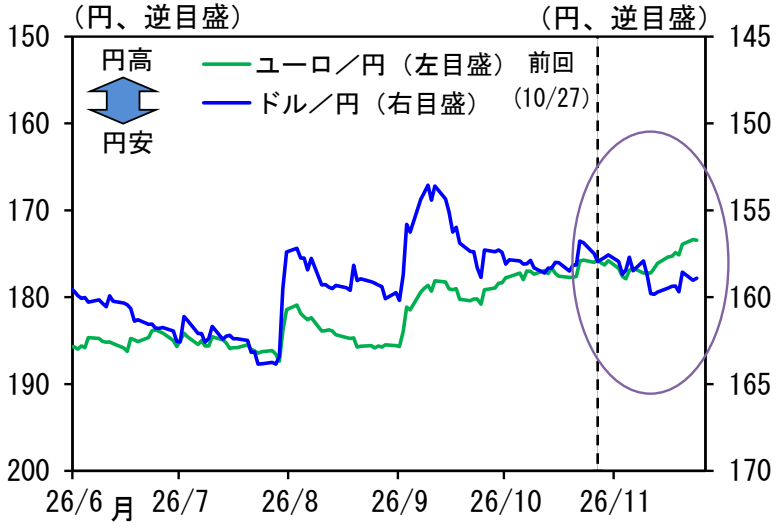


（注）日本は、11月24日午前11時30分時点の値。
（出所）Bloomberg

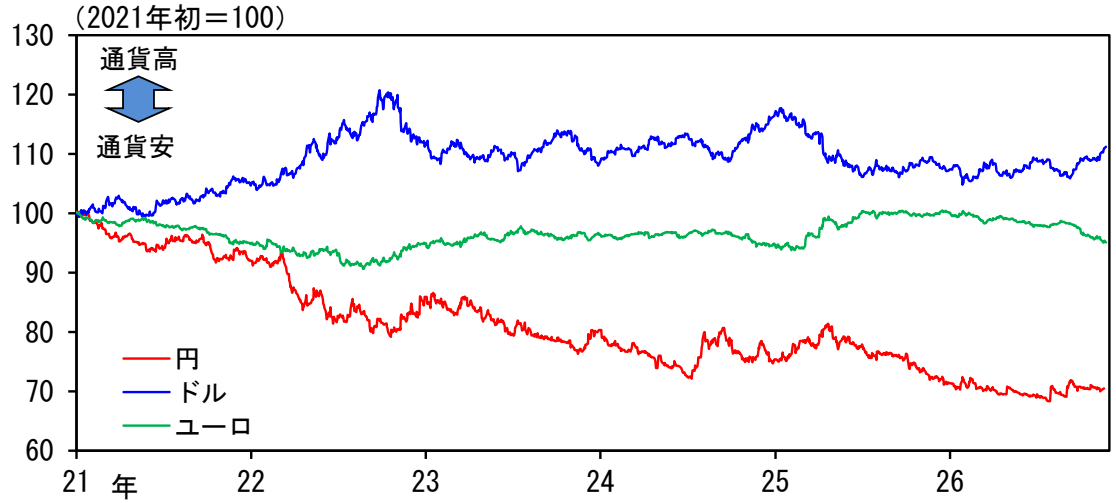
３．為替相場

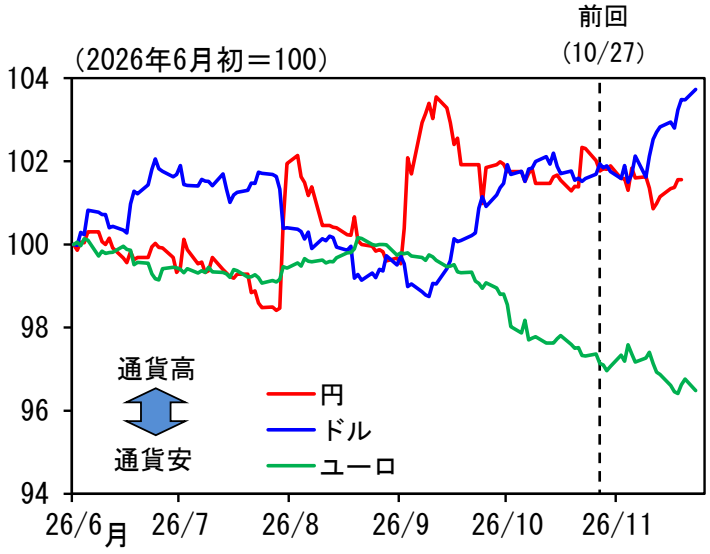
（１）ドル／円、ユーロ／円相場





（２）名目実効為替レート

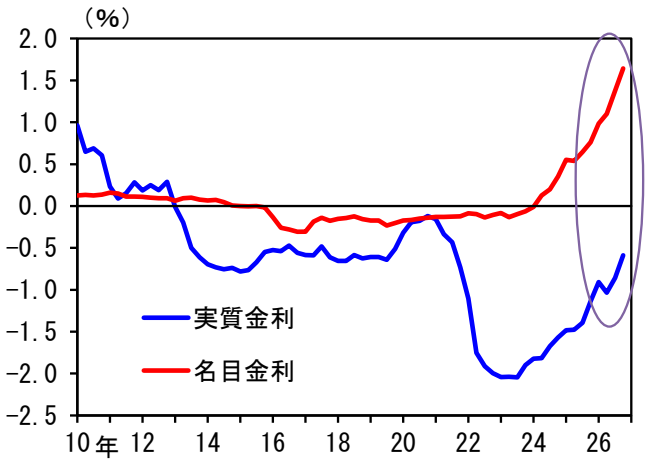




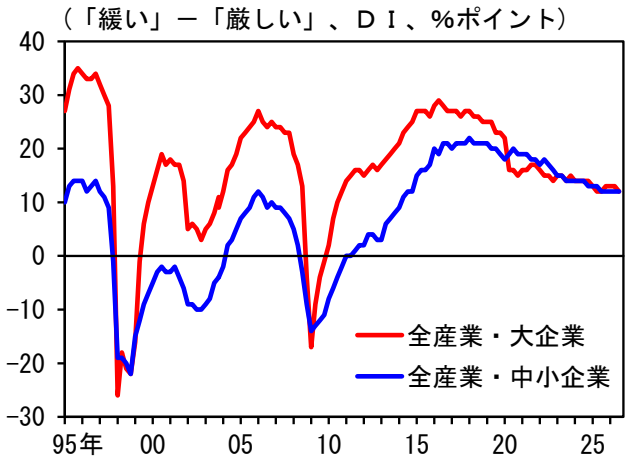
（注）（１）は、11月24日午前11時30分時点の値。
（出所）Bloomberg、ECB、日本銀行

４．国内の金融環境

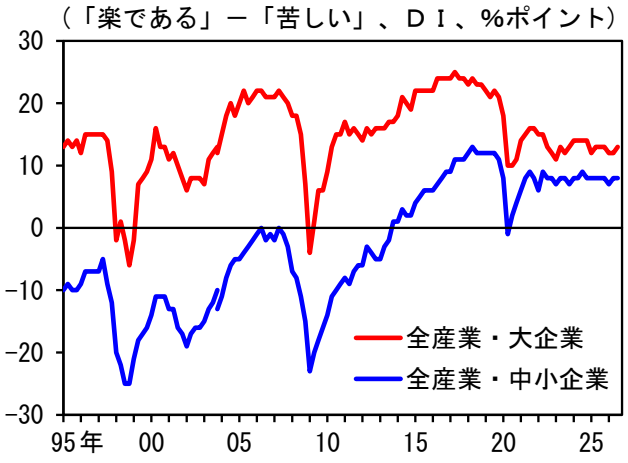
（１）実質金利（１年金利）



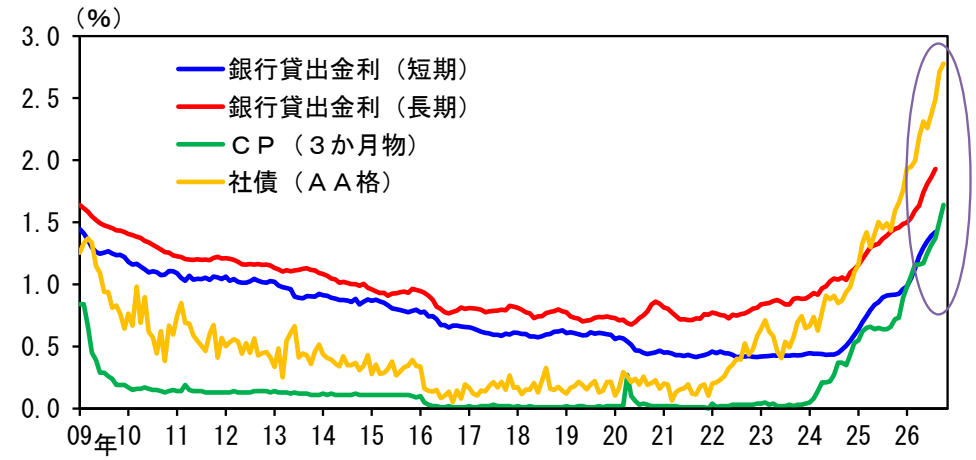
（２）企業からみた金融機関の貸出態度



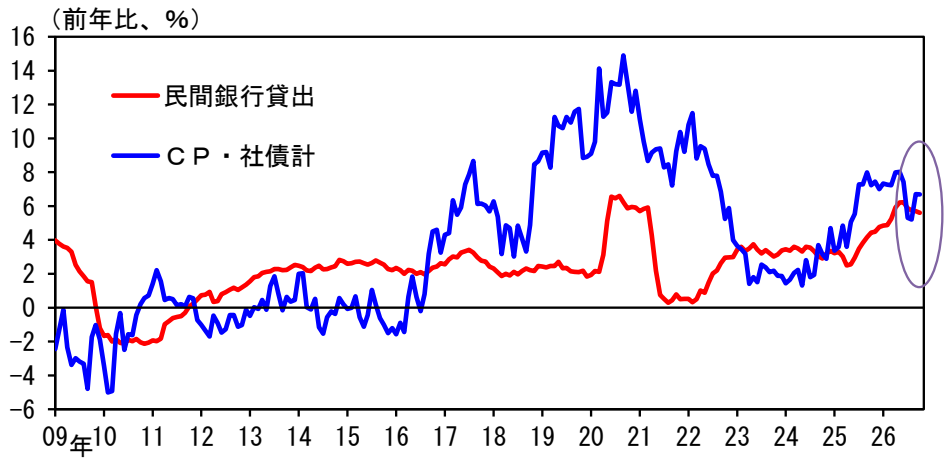
（３）企業の資金繰り



（４）資金調達コスト



（５）貸出残高とＣＰ・社債発行残高



（注）1. （１）の実質金利は、国債利回り（１年物）から予想物価上昇率（日本銀行スタッフによる推計値、直近は2026/3Qの値を使用）を差し引くことにより算出。
2. （２）は、短観の金融機関の貸出態度判断ＤＩ。2003/12月調査には、調査の枠組み見直しによる不連続が生じている。
3. （３）は、短観の資金繰り判断ＤＩ。2003/12月調査には、調査の枠組み見直しによる不連続が生じている。
4. （４）のＣＰ発行利回りの2009/9月以前はａ－１格以上、2009/10月以降はａ－１格。社債発行利回りは、単純平均値、起債日ベース。対象は国内公募社債で、銀行や証券会社などの発行分は除く。銀行貸出金利（新規約定平均金利）は、後方６か月移動平均。
5. （５）の民間銀行貸出は平残前年比、ＣＰ・社債計は末残前年比。民間銀行貸出には、企業向けのほか、個人向け、地方公共団体向け等も含む。

（出所）日本銀行、QUICK「QUICK月次調査＜債券＞」、Consensus Economics「コンセンサス・フォーキャスト」、Bloomberg、証券保管振替機構、キャピタル・アイ、アイ・エヌ情報センター